

【令和7年度第2回地域包括支援センター運営協議部会】会議概要

|       |                              |            |          |
|-------|------------------------------|------------|----------|
| 会議名   | 令和7年度 第2回足立区地域包括支援センター運営協議部会 |            |          |
| 事務局   | 福祉部高齢者施策推進室高齢者地域包括ケア推進課      |            |          |
| 開催年月日 | 令和8年 2月27日(金)                |            |          |
| 開催時間  | 午前9時30分 ~ 午前11時30分           |            |          |
| 開催場所  | 足立区役所 南館12階 1205A会議室         |            |          |
| 出席者   | 榊原 美樹 部会長                    | 山下 俊樹 副部会長 | 結城 宣博 委員 |
|       | 鈴木 康大 委員                     | 和田 庸右 委員   | 白井 良一 委員 |
|       | 鈴木 由美子 委員                    | 内藤 久子 委員   |          |
|       |                              |            |          |
| 欠席者   | 中村 輝夫 委員                     | 花田 豊實 委員   |          |
|       |                              |            |          |
|       |                              |            |          |
| 会議次第  | 別紙のとおり                       |            |          |
| 資料    | ・ 足立区地域包括支援センター運営協議部会資料      |            |          |
| その他   |                              |            |          |

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|--|--|

○畠山 定刻となりましたので、ただ今から令和7年度第2回地域包括ケアシステム推進会議地域包括支援センター運営協議部会を開始いたします。本日はお忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。本日、司会を担当いたします高齢者地域包括ケア推進課の畠山でございます。どうぞよろしく願いいたします。

また、本日は傍聴の方もいらっしゃいますが、皆様にお願いがございます。写真撮影、動画撮影、および電話等のご使用はお控えいただければと思います。よろしく願いいたします。

続きまして、資料の確認をさせていただきます。お手元の資料をご確認ください。

- 1 会議の次第
  - 2 地域包括支援センター運営協議部会協議報告資料
  - 3 別紙1：令和7年度足立区地域包括支援センターの業務委託評価結果
  - 4 別紙2：令和8年度地域包括支援センターの運営方針（案）
  - 5 別紙3：地域包括支援センター扇の移転先地図（簡略図）
  - 6 別紙4：地域包括支援センター関原（移転後名称：梅田）の移転先地図
- 以上でございます。

本日の会議ですが、足立区地域包括ケアシステム推進会議地域包括支援センター運営協議部会設置要綱第8条に基づき、委員の過半数が出席しておりますので、成立いたします。本日の案件は複数ございますので、スムーズな会議進行にご協力いただきますよう、よろしく願いいたします。また、本日の議事録は公開することとなっております。つきまして

は、議事録作成のため、本日の会議は録音させていただきますので、あらかじめご承知おきください。このほか、ご発言の際は、挙手にて合図をいただき、ご自身のお名前をお話しただいてから発言をお願いいたします。

それでは開催にあたり、榊原部会長からご挨拶をいただきます。よろしく願いいたします。

○榊原部会長 皆様こんにちは。オリンピックの熱も冷めやらぬうちですが、本日はお集まりいただきありがとうございます。この部会は、7月31日に開催して以来となります。この間、鈴木委員、内藤委員、結城委員、中村委員には、評価の取り組みにご協力いただき、進めてまいりました。本日は次第のとおり業務委託評価やプロポーザルに関する協議や報告が行われますので、ぜひ色々ご意見やご提案をいただければと思います。合わせて来年度の運営方針についても審議いたしますので、どうぞよろしく願いいたします。

○畠山 ありがとうございます。それでは早速、議事に入らせていただきます。これからの進行は榊原部会長をお願いいたします。

○榊原部会長 よろしく願いいたします。それでは次第に沿って進めさせていただきます。まずは事項1について、事務局から説明をお願いいたします。

○高橋係長 事務局の高齢者地域包括ケア推進課地域包括支援センター係の高橋でございます。よろしく願いいたします。協議報告資料の1ページ目「地域包括支援センターの業務委託評価」についてご説明いたします。

まず「実施方法」についてですが、今年

度も4つの視点で実施いたしました。

まず「自己評価」ですが、こちらの評価はハウカツ職員による自己評価となります。区が配付した「業務内容に関する調査シート」に基づき、実施しました。次に、「委員評価」です。資料に記載のとおり、部会長以下5名と区の管理職4名が評価者となり、センター長等のハウカツ職員とのヒアリング形式によって行いました。

最後に「履行評価」と「取組評価」です。こちらの評価は、区職員がハウカツの月例報告書等の実績に基づき実施しました。

続きまして、(2)「評価結果」でございます。すべてのハウカツの評価が8割以上で、「良好」との結果でした。

また、ハウカツごとの結果につきましては、今日机上配付した資料「別紙1」をご覧ください。

表紙をめくっていただくと、今回の評価結果がございます。全25ハウカツすべてが良好となっております。項目4に評価委員の主な講評も記載しております。2ページから7ページまでは、業務委託評価の根拠や経緯等を記載しております。その後のページに、各ハウカツの評価結果がございます。レーダーチャートがございますが、こちらは全10事業を各10点満点で表示しております。少し見にくいところもございますが、灰色の点線が平均点で、黒の線がハウカツの評価です。中央の灰色のところは不良の点数を表示しております。そこにかかっていないということで、全て良好ということが分かる作りになっております。

また、評価委員の講評は、レーダーチャートの下に記載をしております。

また、レーダーチャートの右側ですが、前年度と対比できるように、令和6年度と7年度の両方の点数を記載しております。一番右の列が対前年度の評点との差を示しております。三角で表示されているところが、前年度比で下がっている項目となっております。

続きまして、元の資料に戻ります。協議・報告資料の1ページをご覧ください。項番1-(3)「公表方法」です。こちらは、3月13日に開催します地域包括ケアシステム推進会議で報告をいたします。あわせて、各ハウカツへ個別に通知及びヒアリングをいたしまして、4月の厚生委員会後に足立区公式ホームページに掲載をする予定です。

項番2をご覧ください。本項目では、評価に関する課題を記しております。

本運営協議部会では、本日(1)アに記載の介護保険法に基づく業務委託評価の結果について報告させていただいておりますが、イに記載のとおり、プロポーザル方式で選定した受託事業者の契約更新可否を判断する評価を別に行っております。こちらの評価は、例年夏頃に評価委員会を開催し、区の要綱に基づき、評価を実施しております。

現状、今年度まではハウカツ新田の1か所だけが対象でしたので、ヒアリングから審議まで2時間程度で行ってまいりました。しかし、年3か所のプロポーザルにより、年々対象が増えることから、従来の実施方法では到底不可能な状況となります。

このため、事務局としてはこの2つの評価を統合できないか、検討を進めておりますが、課題点があります。そもそもの評価の目的が異なることはもちろんのこと

と、実施時期を一方の評価に合わせると、もう一方に支障が生じる点です。例えば、夏頃の統一の評価実施とする場合ですと、介護保険法に基づく評価では、新年度が始まり数カ月が経過した時点での評価実施になりますので、各ハウカツによる評価結果を踏まえた改善策を盛り込んだ事業計画の策定は、困難となります。逆に、冬に評価を実施する場合、契約更新可否の評価において「契約更新不可」となった場合に、次年度の事業者を残り数カ月で決定しなければならない状況になります。新事業者が決まった場合、事業者間での確実な引継ぎを行う必要がありますので、万全な状況で新年度を迎えられるのか、疑問が生じます。新年度早々の時期での実施も検討しましたが、区の出納閉鎖までに法令に基づく前年度委託費の精算を完了させなければならない重要な事務処理があり、厳しい状況です。

評価の統合につきましては、困難な課題がございますが、法令等を考慮しながら、区民の皆様を第一とした取り組みになるように、運営協議部会でもご検討をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

最後に項番3です。評価への課題はありますが、令和8年度は、PDCAサイクルの考え方に則り、当初の目的達成のためにも、まずは今年度と同様のスケジュールや流れで実施したいと思っておりますので、こちらについても協議をよろしくお願いいたします。以上でございます。

○榊原部会長 ありがとうございます。ただいまの説明について、ご質問等がございますか。

○鈴木委員 以前、この場でレーダーチャートの見やすさについて話し合った際、良好の基準線と実際の点数を示す線が太線になっており、パッと見てどちらが基準でどちらが点数かわかりにくいと感じました。区民の方が見ることも考え、基準線は細い実線にするなど、工夫の余地があるのではないのでしょうか。

○高橋係長 ご意見ありがとうございます。今回の配布資料は白黒ですが、ホームページ掲載時はカラーを想定しております。カラーであれば見やすくなる部分がございますが、より分かりやすい表記について再度検討させていただきます。

○和田委員 確認ですが、基幹西部とハウカツ江北は別物と考えてよいのでしょうか。別であれば、基幹西部の評価はないということですか。

○結城委員 別です。基幹西部は基幹型であり、今回の評価対象は地域型のハウカツとなります。そのため、基幹型についてはこの評価の中には含まれておりません。

○榊原部会長 実際に評価に携わった委員の方々から、感想やご意見はございますか。

○鈴木委員 ハウカツのお仕事は多岐にわたることを改めて実感しました。高齢者への対応だけでなく、地域の子供たちとのゴミ拾いなど、地域に根差した活動を知ることができ、非常に良かったと思っております。

○内藤委員 各センターとも非常に努力されているということ、評価を通じて実感することができました。

○結城委員 アピールタイムの間では、各ハウカツの特色を知ることができました。現場としてはプロポーザル評価と業

業務委託評価が二重になるのは負担感があります。なるべく書類を共通化するなど、簡素化をお願いしたいです。また、ハウカツへのヒアリングの機会も設けていただければと思います。

○榊原部会長 今の点に関連して、プロポーザル評価の内容は、現在の委員評価資料と同一なのでしょう。

○高橋係長 プロポーザル選定委員会は区長の附属機関ではないため、外部委員は含まれず、主に区の管理職が評価を行っています。評価内容は包括業務に関するものですが、提出資料は異なり、より簡便なものを求めています。ただ、結城委員がおっしゃる通り、2回ヒアリングを受け、2回資料を作ることは大きな負担になりますので、業務の効率化を進めていきたいと考えています。

○山下委員 部会長の質問に関連しますが、プロポーザル方式で選定した受託事業者の契約更新の可否は、法人の財務状況や事業継続計画（BCP）、コンプライアンス等も重視されるべきだと思いますが、その点はいかがでしょうか。目的が異なるのであれば、別々に評価せざるを得ない気がします。

○高橋係長 おっしゃる通り、目的が違うという点について課題であると感じておりますが、現状として我々が継続して業務を判断する中で、業務内容を重視しております。ただ、山下委員がおっしゃる通り、法人の経営状況等の評価は重要な材料であると考えております。現在は業務内容に重きを置いて評価していますが、経営基盤の評価を別途行いつつ、いかに効率的に統合できるかを検討してまいります。

○山下委員 2年ほど前に法人が経営を

終了し、混乱した事例もありました。区民生活に直結するため、経営状況等の確認は必要であると考え質問させていただきました。

○榊原部会長 プロポーザル評価委員会について、組織基盤の評価をプロポで行い、前年度の業務評価を参考に継続可否を判断することは可能なのでしょうか。

○高橋係長 時期の問題が大きいです。業務委託評価は年度内の実績を1～2月頃に評価しますが、4月からの契約更新を判断するには、その時期では遅すぎるという課題があります。前年度の評価結果を活用するなどの手法も含め、検討を深めたいと思います。

○榊原部会長 前年度の業務委託評価結果を、7月の更新可否に用いて評価するのはどうかと思い質問させていただきました。

○高橋係長 具体的な時期は示せませんが、検討課題を整理したうえで、素案をお示しできればと考えております。

○山下委員 先ほどのとおり、目的がことなるのであれば別々でやらざるを得ないが、二重の負担が課題というのであれば、部会長のご意見のように合わせてしまえばよいと思います。

○榊原部会長 ありがとうございます。今年度の業務委託評価の総括になりますが、実際にお話しを伺うことで、具体的にどのような業務を行っているのかや熱意を感じる事ができました。現在すべてのハウカツが90点以上ということ踏まえると、もう少しメリハリのついた点数配分もあるのかなと感じました。今すぐの変更ではありませんが、引き続き検討できればと思います。

○榊原部会長 続いて事項2について、事務局から説明をお願いいたします。

○高橋係長 引き続き、事務局の高橋から説明いたします。資料は、別紙2をご覧ください。

こちらが来年度のハウカツ運営方針の案でございます。内容は令和7年度とほぼ変わりませんが、9ページの項番8「認知症総合支援事業」は、これまで「認知症施策推進大綱」の趣旨を踏まえた取り組みとして記載しておりましたが、「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」の趣旨を踏まえた取り組みに変更しております。なお、「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」は令和6年1月に施行されておりますが、足立区では、令和8年の足立区議会第1回定例会に「足立区認知症とともにいつまでもこのまちで条例案」を提出しております。議会で可決されますと、今年4月1日から施行されます。

また、「あだちオレンジチェック」や「あだちオレンジサポート」など事業名の更新もあるほか、認知症地域支援推進員の役割を明記しております。

これらの運営方針案の内容につきましては、センター長会で説明済みでございますので、特に影響はないと考えております。以上となります。

○鈴木委員 「災害時の対応」について質問です。医療機関や薬局では、昼間と夜間で参集できる職員数が異なりますが、ハウカツにおいて昼夜別の体制把握はされていますか。また、総合防災訓練等でハウカツの情報が共有されているのでしょうか。

○高橋係長 現状、BCPの策定状況や連絡体制、避難行動要支援者名簿の管理

状況などは中間検査で確認していますが、昼夜別の詳細な参集体制までは定められていないのが実情ですので、今後の検討課題とさせていただきます。訓練については、法人単位で実施していただいております。

○白井委員 3点確認させてください。まず、介護支援専門員からハウカツへの相談シートとは具体的にどのようなものか。

続いて、地域の医療介護関係者との合同事例検討会などは、地域ケアネットワークと別に開催するのであれば、業務負担になるのではないかと。

最後に、認知症総合支援事業で、なぜ「アルツハイマー型認知症」という特定の名称が入っているのかについて、教えてください。

○高橋係長 1点目の相談シートについては、削除漏れのため、早急に修正させていただきます。2点目については、基本的には前年度と変更がないため、新たな負担を強いるものではないと認識しております。

○山下委員 3点目の表記についてですが、認知症検診や物忘れ相談等を念頭に置いた項目であるため、主にはMC Iからのアルツハイマー病の対策として位置づけられていると考えられます。そのため、違和感のない表記であると思えます。

○榊原部会長 ありがとうございます。ただいまの説明について、ご質問等はございますか。

ないようですので、次の議事に移ります。

○高橋係長 プロポーザルの特定結果について報告します。令和7年度の対象3

箇所のうち、ハウカツ扇は社会福祉法人白寿会に変更、ハウカツ東和とはなはたは変更なしとなりました。ハウカツ扇は令和8年4月から移転いたします。次に、ハウカツ関原は建物が築58年と老朽化し、担当地域外に設置されている課題があったため、担当地域である梅田へ移転し、名称を「地域包括支援センター梅田」に変更いたします。令和8年3月23日から新事務所での業務を開始する予定です。以上となります。

○榊原部会長 ただ今の説明について、ご質問等がある方はいらっしゃいますか。その他、全体を通しての質問も受け付けます。

○山下委員 プロポーザル選定の参考見積金額についてですが、昨今の深刻な人手不足や人件費高騰を鑑み、ハウカツが安全かつ十分な活動ができる適切な委託金額となるよう、区としても十分に配慮をお願いしたいです。

○榊原部会長 人件費比率がかなり高い印象でしたので、適切な水準について、ぜひご検討いただけたらと思います。

○結城委員 専門職の複数配置も厳しい状況ですので、定期的な人件費の見直しを通して安心して運営できるよう考慮いただけると幸いです。

○内藤委員 ハウカツの職員は女性が多い印象ですので、危険な場面もあると思いますので、男性職員が増えるとよいと感じました。

○白井委員 現状でいうと、3職種の複数配置自体難しいですが、形骸化している印象もあります。直接関わる中で、ハウカツによっては相談しきれない場面も散見されるため、後方支援や育成等に注力していただけるとよいと感じました。

○榊原部会長 専門性というところで、まだ高めていく余地があるということで、そこに対する後方支援も必要になってくるということですね。ありがとうございます。それでは、会議の進行を事務局に戻します。

○畠山 榊原部会長、ありがとうございました。委員のみなさまにおかれましても、活発なご意見ありがとうございました。次回は7月頃の開催を予定しております。また、令和8年度は評価方法の検討を進めてまいりたいと思いますので、例年2回の開催を3回にできればと考えております。その点につきましても、次回みなさまにご相談させていただきま。それでは、以上をもちまして、本日の運営協議部会を終了いたします。ありがとうございました。